



まちづくり団体の取り組み ～こんなことやってます～

県内各地域におけるまちづくり団体の活動を紹介するコーナーです。今回は、石岡市のまちづくり市民会議の取り組みをご紹介します。

石岡市まちづくり市民会議

誰もが安心感や生き甲斐を味わえる魅力的な生活空間の形成のためには、住民の方々一人ひとりが、自分たちの住むまちに関心を持ち、まちづくりに積極的に参画していただくことが重要です。

今回は、県内初として平成11年に設立した会員制の住民による政策検討組織「石岡市まちづくり市民会議・ひまわりネット」の取り組みをご紹介します。

石岡市まちづくり市民会議は、中心市街地の活性化を図り住み良いまちをつくることを目的に、現在約90名の会員が、各委員会に分かれ、まちづくり公開講座の開催やまちづくり情報誌の発行、まちづくりウォッチング等の様々な事業を展開しています。

昨年2月には、中心市街地活性化の提言書「きらめく石岡 銀河計画」を石岡市長に提出しました。提言には空き店舗の活用方策から人にやさしいまちづくり、歴史遺産を活かしたまちづくり、街なか再生計画に至るまで、きめこまかい内容が盛り込まれたものでした。同市では、提言を受け、活性化基本計画策定委員会等の議論を経て、今年4月に「歴史・暮らしが輝くまちづくり」を理念とした「石岡市中心市街地活性化基本計画」を策定しています。

また、中心市街地の中心に位置する空き店舗を利用し、活性化の起爆剤として市が設置した「まちかど情報センター」もまちづくり市民会議が企画・運営にあたっています。大型スクリーンやインターネットによる情報発信、市役所機能の相談窓口のほか、コンサート、作品展、児童のお話し会のイベント開催等を行い、開館時間も朝10時から夜8時、日曜も開館し常時スタッフが在住しており、まさに市民のためのまちづくり交流の拠点となっています。

「石岡市まちづくり市民会議」では今後もこれらの取り組みを続けると共にNPOの取得を予定しており、より多くの市民とネットワークを結び、行政とのかけ橋としてまちづくり活動を展開していきます。

(問い合わせ：石岡市まちづくり市民会議
TEL 0299-27-5171)



学校帰りの子どもたちも立ち寄る市民の交流の場になっている